

氏名	大 西 弘 倫
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3470 号
学位授与の日付	平成 12 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Increased Expression of Connective Tissue Growth Factor in the Infarct Zone of Experimentally Induced Myocardial Infarction in Rats (Rat実験的心筋梗塞モデルにおけるconnective tissue growth factor (CTGF)の発現と局在)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 佐野 俊二 教授 竹居 孝二

学位論文内容の要旨

【背景】 CTGF は TGF- β の誘導を受け、collagen の発現を増加させる。以上より、梗塞治癒機転をより直接的に制御する可能性を有する。梗塞部における CTGF の発現を検討した。**【対象と方法】** 雄性 SD-Rat45 匹。左冠動脈を結紮し心筋梗塞作成後、経時的に心摘出。それぞれの実験を行った。**【結果】** Northern blot : sham 心において CTGF mRNA の発現はわずか。梗塞 7 日後に 23 倍に著増、ピークを示した。ISH : CTGF mRNA の発現細胞は fibroblast 及び myocyte 。梗塞 7 日後に梗塞中心部に発現。発現は $\alpha 1(I)$ と平行。Western blot : 梗塞 7 日後に発現のピークを示した。免疫染色 : 梗塞 7 日後に CTGF は梗塞中心部に発現。**【総括】** (1) 梗塞部における CTGF の発現と局在を証明した。(2) 発現細胞は fibroblast 及び myocyte であった。(3) 発現は $\alpha 1(I)$ と平行、CTGF の治癒機転への関与が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は心筋梗塞部位における connective tissue growth factor (CTGF) の発現を、ラット心筋梗塞モデルを用いて検討した研究であるが、従来十分確立されていなかった急性心筋梗塞時の CTGF 発現に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。